

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

仕事を通じて人生を楽しみ、社会に貢献する。食を通じて社会に貢献する企業を標榜。

売上高経常利益率
5%以上自己資本当期純利益率
8%以上自己資本比率
50%以上配当性向
30%以上

② 中長期の経営戦略

1. レストラン事業強化

投資効率重視の出店戦略と既存店舗のオペレーション改革により利益率向上を目指す。

3. 冷凍食品事業成長

業界有数の冷凍おせち製造に加え、冷凍宅配弁当のODM・OEM事業を強化し業界プレイヤーを目指す。

2. 機内食事業拡大

EXPO2025大阪・関西万博へ対応。生産体制改善とハラル対応の強化で安全安心の食を提供。

4. 外国人材対応

2022年開校の日本語学校の定員を1.5倍に拡大。特定技能1号の登録支援機関として実績積み上げ。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の厳しさへの対応

- ・ 原材料価格高騰と人件費増加への対応
- ・ 光熱費など様々なコスト上昇への対応
- ・ 人手不足による採用・育成の強化

② 少子超高齢社会への対応

- ・ ライフスタイルの多様化に対応した商品・サービス開発
- ・ 孤食や食の外部化拡大への対応
- ・ 働く女性・高齢者向けサービスの拡充

③ M&Aを活用した経営基盤強化

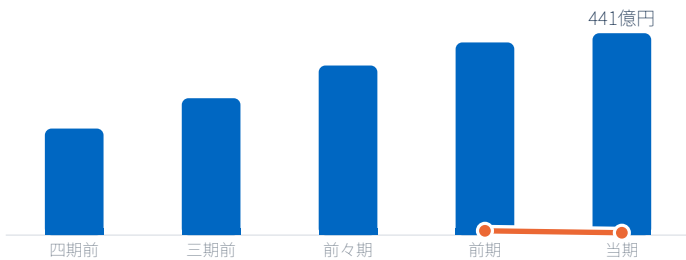
- ・ ホールディングス機能を中心としたグループシナジー創出
- ・ 付加価値向上への戦略実行徹底
- ・ 次世代に向けた事業構造構築への挑戦

面接で使えるポイント

- ・ 1970年の大阪万博以来、外食産業を中心に成長し、EXPO2025大阪・関西万博に再び参加する事業展開。
- ・ 人が育てば企業が育つという信念で教育を最重点課題に、経営のあらゆる場面で人材育成に注力。
- ・ 機内食・冷凍おせち・日本語学校など多様な事業で、2030年3月期の目標達成に向け戦略実行を推進中。

証券コード 9850

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
441億円営業利益率
1.2%財務健康度
21点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 44.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
572万円

小売業内 128位/318社

平均年齢
46.9歳

小売業内 63位/318社

平均勤続
10.37年

小売業内 170位/318社

女性管理職
8.5%

小売業内 166位/250社

男性育休
100.0%

小売業内 52位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: グルメ杵屋、阪神タイガース「未来につなぐトライアルベースボー

